

# 第2次計画：指標と目標値の評価

平成28年7月末現在

柱	指標	計画策定時	目標値	直近値	評価	出典	
健全な食生活の実践	(幼児1～5歳)	93.7% (H20)	100%	93.2%	▲	※1健康食生活実態調査(H20) ※2子ども・若い世代の食生活実態アンケート(H27) ※3第21回県民意識調査(H27)	
	(児童・生徒6～14歳)	92.6% (H20)	100%	93.4%	○ ※2		
	(15～19歳)	78.9% (H20)	87%以上	85.6%	○		
	朝食を食べる人の割合の増加	(20歳代男性)	64.7% (H20) ※1	71%以上	51.4%		▲
		(20歳代女性)	70.0% (H20)	77%以上	69.2%		▲
		(30歳代男性)	66.4% (H20)	73%以上	66.8%		○ ※3
	(30歳代女性)	82.0% (H20)	90%以上	82.0%	▲		
	毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加(1歳以上)	86.4% (H20) ※1	95%以上	65.0%	▲ ※2 ※3		
	食事のあいさつ(いただきます・ごちそうさま)ができる幼児の割合の増加	72.8% (H20) ※1	100%	73.9%	○ ※2		
	(幼児1～5歳)						
	食事づくり(買物・調理・後片づけ)に参加する人の割合の増加	(幼児1～5歳)	55.1% (H20)	70%以上	50.4%		▲ ※2
		(児童・生徒6～14歳)	75.7% (H20) ※1	90%以上	65.6%		▲
		(15歳以上男性)	26.7% (H20)	40%以上	67.5%		◎ ※3
		(15歳以上女性)	81.7% (H20)	95%以上	90.2%		○
		適正体重を達成、維持している人の割合の増加					
(幼児4～5歳)	97.7% (H23) ※1	98%以上	94.3%	▲ ※1	※1幼児・学童身体状況調査 ※2健康食生活実態調査(H20)		
(児童6～11歳)	92.4% (H23)	93%以上	92.9%	○			
(30～40歳代男性)	66.6% (H20) ※2	70%以上	—	—			
(30～40歳代女性)	76.8% (H20)	79%以上	—	—			
(20歳代女性・やせの減少)	25.3% (H20)	23%以下	—	—			
腹囲が男性85cm、女性90cm以上の人の割合の減少(20歳以上)	29.1% (H20) ※1	26%以下	—	—	※1健康食生活実態調査(H20)		
災害に備え、非常用食料などを備蓄している世帯の割合の増加(世帯)	41.9% (H20) ※1	60%以上	61.7%	◎ ※2	※1健康食生活実態調査(H20) ※2第21回県民意識調査(H27)		

柱	指標	計画策定時	目標値	直近値	評価	出典
支える活動の推進	「農」と食の営みを					
	楽農生活交流人口数の増加	1,081万人/年(H22) ※1	1,100万人/年	1,124万人/年(H26) ※2	◎	※1ひょうご農林水産ビジョン2020 ※2関係施設の利用者数調査
	兵庫県認証食品流通割合(生鮮)の増加	25.6% (H22) ※1	36%	27.7% ※2	○	※1ひょうご農林水産ビジョン2020 ※2統計数値からの推計
ひょうごの食文化の継承と創造	地域の行事食、郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加(20歳以上)					
	(知っている人)	64.9% (H23) ※1	80%以上	41.4%	▲	※1県民モニター調査 ※2第21回県民意識調査(H27)
	(作ることができる人)	27.1% (H23)	30%以上	18.4%	▲ ※2	
	地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合の増加	58.0% (H22) ※1	70%以上	71.7%	◎ ※2	※1美しい兵庫指標県民意識調査※2「ひょうごのゆたかさ指標県民意識調査」
兵庫県認証食品の加工品数の増加	597 (H22) ※1	885	842 ※2	○	※1ひょうご農林水産ビジョン2020 ※2認証実績	
食育活動の推進と連携体制の強化	食育に関心のある人の割合の増加(20歳以上)	89.4% (H23) ※1	90%以上	86.8%	▲ ※2	※1県民モニター調査 ※2第21回県民意識調査(H27)
	食育の意義を理解し、食育活動を実践している人の割合の増加(20歳以上)	40.3% (H23) ※1	60%以上	47.4%	○ ※2	
	公立小中特別支援学校職員の食に関する研修の受講率の増加	24.7% (H22)	50%以上	26.5%	○	体育保健課調べ
	学校給食での県産品使用割合の増加	30.0% (H22)	35.0%	29.7%	▲	体育保健課調べ
	食に関する指導において体験活動(栽培活動など)を実施する学校数(のべ数)の増加	3,179校 (H22)	4,500校	4,310校	○	体育保健課調べ
	家庭・地域と連携した取組を行った学校数(のべ数)の増加	3,280校 (H22)	4,500校	3,718校	○	体育保健課調べ
	ひょうご“食の健康”運動に取り組む食の健康協力店の店舗数の増加	6,389店 (H22)	8,000店	7,842店	○	健康増進課調べ
	地域と連携した食育活動に取り組む組織・団体の増加	82団体 (H22)	200団体	360団体	◎	健康増進課調べ
市町の食育推進計画の策定率の増加	73.2% (H22)	100%	100%	◎	内閣府調査	

**評価欄**  
◎: 目標値を達成 .....6項目  
○: 直近値が計画策定時と比較して向上 .....14項目  
▲: 直近値が計画策定時と比較して進捗がみられない .....12項目  
—: 直近値を把握中であり、評価ができない .....4項目